

令和 6 年度

第 1 回 高崎市倉渕地域振興協議会 次第

日 時：令和 6 年 7 月 2 6 日（金）

午後 1 時 3 0 分～

場 所：倉渕支所 3 階倉渕公民館活動室

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

（１）倉渕地域に関わる事業報告について

（２）倉渕地域のまちづくりに関する意見について

4 連絡事項

5 閉 会

〈配布資料〉

資 料 1 倉渕地域に関わる事業報告一覧

資 料 2 倉渕地域のまちづくりに関する意見一覧

参考資料 令和 6 年度 高崎市当初予算の概要

倉渕地域に関わる事業報告書一覧

ページ	事業名	所属 (支所)
1	くらぶち英語村運営事業	企画調整課
2	くらぶち小栗の里指定管理事業	観光課 (地域振興課)
3	移住・定住を促進するための取り組み	建築住宅課 (農林建設課) 企画調整課 (地域振興課)
4・5	簡易水道整備事業	水道局 経営企画課 (農林建設課)
6	障害者農業就労施設運営事業	障害福祉課

倉渕地域に関わる事業報告書

事務事業名	くらぶち英語村運営事業	所属 (支所)	総務部 企画調整課
実施期間	平成 28 年度～	事業の種類	ソフト事業

【事業概要】

対 象	市内をはじめとする全国の小学生・中学生		
実施目的	具体的手段	そ の 他	
旧川浦小の利活用と倉渕地域の活性化等の観点から、全国の小中学生を対象とする英語で生活する山村留学事業を実施する。	旧川浦小跡地に留学生たちの生活拠点となる寄宿舎等を整備。ネイティブスピーカーたちと英語で日常生活を送る中で、実践的な英語力を身に付けてもらう。	平成 30 年3月に寄宿舎竣工。 平成 30 年4月より通年コース開設。週末コース、短期コースを合わせた3つのコースで留学生を受け入れ。	

【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算 見込額	令和5年度事業実績
合計	175,049	174,414	・通年コース 23 名(小学生 10 名、中学生 13 名)が通年コースを修了。 ・週末コース 年間 10 回開催し、のべ 187 名が参加。 ・短期コース 夏休みは3泊4日、4泊5日、5泊6日を各1回開催し、計 63 名が参加。 冬休みは3泊4日で1回開催し、20 名が参加。 ・令和6年度通年コース留学生募集 66 名の申し込みがあり、体験留学、親子面接を経て、13 名を新規留学生として受入決定。継続留学生 9 名と合わせて 22 名で開始。
国			
県			
地方債	35,000	35,000	
その他	45,077	46,411	
一般	94,972	93,003	

【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	令和6年度事業予定
合計	171,736	・通年コース 留学生は 22 名(小学生 9 名、中学生 13 名)。うち 9 名が継続留学生。 ・週末コース 令和6年度は年間10 回開催予定。(定員各 20 名) ・短期コース 夏休みは3泊4日、4泊5日、5泊6日の3回、冬休みは3泊4日の1回開催予定。(定員各 20 名) ・令和7年度通年コース留学生の募集 秋ごろまでに通年コースの留学生募集を実施。個別相談会、体験留学、親子面接を経て、来年1月下旬に新年度留学生を決定する予定。
国		
県		
地方債	35,000	
その他	45,077	
一般	91,659	

倉渕地域に関わる事業報告書

事務事業名	くらぶち小栗の里指定管理事業	所属 (支所)	商工観光部 観光課 (倉渕支所地域振興課)
実施期間	平成 26 年度～	事業の種類	ソフト事業

【事業概要】

対 象	市民、観光客		
実施目的	具体的手段	そ の 他	
市民や観光客が、憩い楽しめる倉渕地域の情報発信基地の要素をもった拠点施設を整備し地域の活性化を図る。	民間事業者等のノウハウ活用を目的とした指定管理者制度を活用し施設の管理運営を行う。	平成26年4月4日 道の駅登録(高崎市初) 平成26年4月26日 「くらぶち小栗の里」オープン	

【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算 見込額	令和5年度事業実績
合計	18,334	18,334	年間入場者数 487,252 人 多目的ホール等の施設利用者数 1,617 人 令和5年度末までの累計入場者数 5,333,262 人
国			
県			
地方債			
その他			
一般	18,334	18,334	

【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	令和6年度事業予定
合計	19,000	・高崎市等がくらぶち小栗の里で実施する予定の事業 6月 企画文化事業『新緑の会』 「ぐんま緑の県民基金」関連事業『親子で倉渕の自然を楽しむ』 8月 くらぶちの夏祭り 11月 くらぶちやまなみ祭 12月 豊田一男作品展 1月 高崎市二十歳の集い(倉渕地域) 2月 まちなか音楽活動事業『倉渕まちなか音楽祭』 倉渕の写真コンテストほか ・高崎市と指定管理者との連絡調整
国		
県		
地方債		
その他		
一般	19,000	

倉渕地域に関わる事業報告書

事務事業名	移住・定住を促進するための取り組み	所属 (支所)	建設部 建築住宅課 (倉渕支所農林建設課) 総務部 企画調整課 (倉渕支所地域振興課)
実施期間	空き家緊急総合対策事業:平成 26 年度～ 移住促進資金利子補給金制度 平成 28 年度～	事業の種類	ソフト事業

【事業概要】

対 象	倉渕・榛名・吉井地域		
実施目的	具体的手段	そ の 他	
倉渕・榛名・吉井地域の人口減少対策の一環として、同地域の移住・定住を促進する。	・空き家緊急総合対策事業 ・移住促進資金利子補給金制度	・空き家緊急総合対策事業: 空き家を住居として借りる場合、家賃の一部を助成 ・移住促進資金利子補給金制度: 移住・定住するための住居取得に際して受けた融資の利子5年分を『高崎通貨』にて全額補給	

【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算 見込額	令和5年度事業実績
合計	-	-	・空き家緊急総合対策事業 201 件(倉渕地域 6 件) 制度 1 管理費用の一部助成 59 件(倉渕地域 1 件) 制度 2 解体費用の一部助成 103 件(倉渕地域 2 件) 制度 5 空き家家賃の一部助成 13 件(倉渕地域 1 件) 制度 7 定住促進空き家活用一部助成 4 件(倉渕地域 2 件) ・移住促進資金利子補給金制度 136 件うち倉渕地域2件(令和5年度認定者)
国			
県			
地方債			
その他			
一般	-	-	

【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	令和 6 年度事業予定
合計	-	・空き家緊急総合対策事業 ・移住促進資金利子補給金制度
国		
県		
地方債		
その他		
一般	-	

倉渕地域に関わる事業報告書

事務事業名	簡易水道整備事業	所 管 (支 所)	水道局 経営企画課 (倉渕支所農林建設課)
実 施 期 間	平成18年度～	事 業 の 種 類	ハード事業

【事業概要】

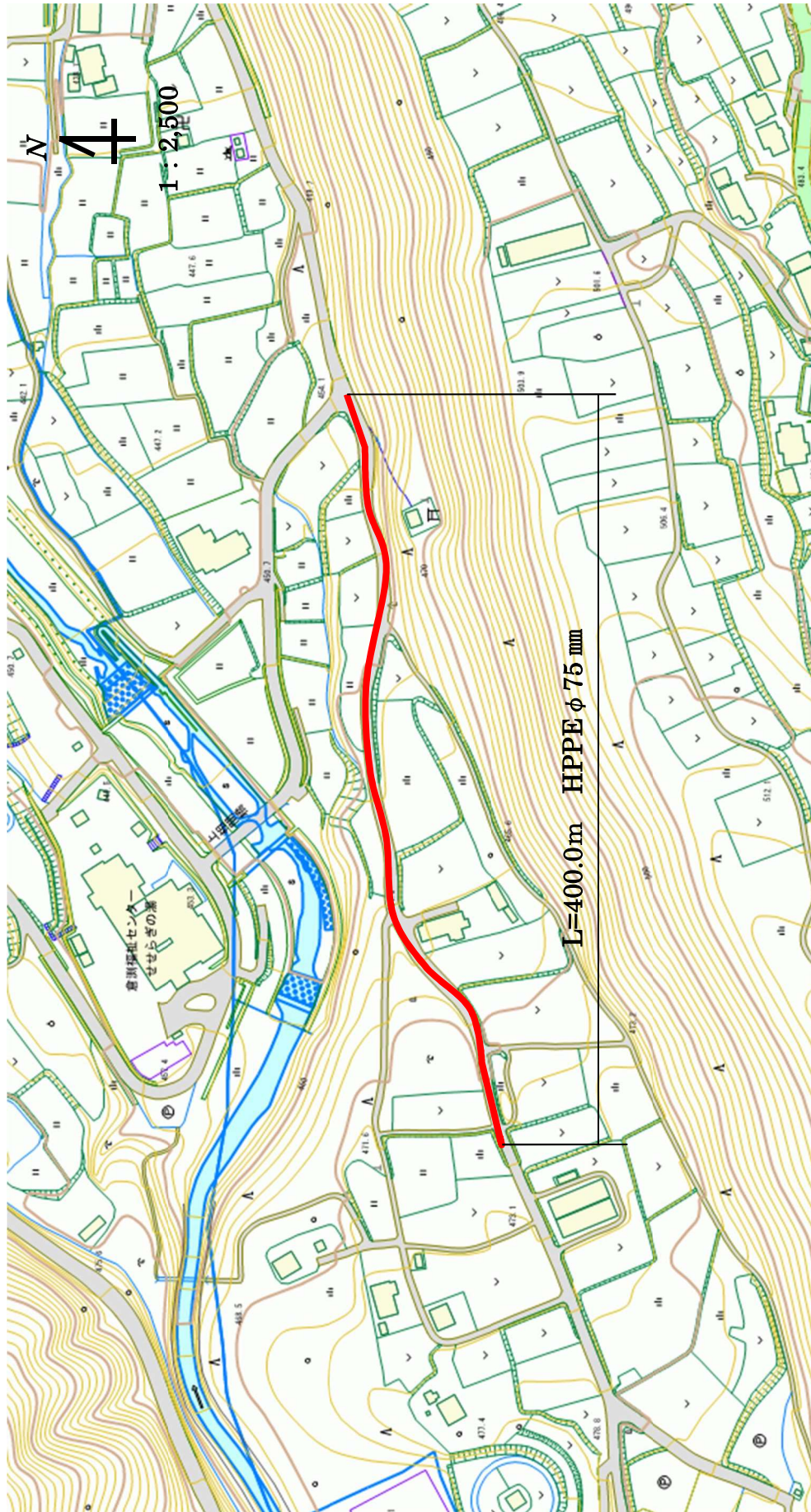
対 象	簡易水道整備事業		
実 施 目 的	具体的手段	そ の 他	
簡易水道の安定供給を図る。	簡易水道施設の整備及び維持管理を行う。	簡易水道事業 ・倉渕支所管内5事業 ・箕郷支所管内2事業 ・榛名支所管内8事業	

【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算 見込額	令和5年度事業実績
合計	245,999	232,723	施設整備 ・倉渕地区水道施設監視システム更新工事 (中部・川浦) 維持管理 ・簡易水道施設(中部・三ノ倉・川浦・川浦西・相満)
国	—	—	
県	—	—	
地方債	—	—	
その他	—	—	
一般	245,999	232,723	

【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	令和6年度事業予定
合計	257,425	施設整備 ・相間平地区配水管布設替工事(中部) 維持管理 ・簡易水道施設(中部・三ノ倉・川浦・川浦西・相満)
国	—	
県	—	
地方債	—	
その他	—	
一般	257,425	



倉渕地域に関わる事業報告書

事務事業名	障害者農業就労施設運営事業	所属 (支所)	福祉部 障害福祉課
実施期間	(整備事業) 令和4、5年度 (運営事業) 令和6年度～	事業の種類	ソフト事業

【事業概要】

対 象	障害者（主たる対象者：知的障害者）		
実施目的	具体的手段	そ の 他	
市直営の障害者の農業就労支援施設を整備し、利用者（障害者）が自立した生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動等を通じて、知識・能力の向上を図る。	・付加価値の高いメロンの水耕栽培を行う就労支援施設を整備・運営し、農産物等の売上は利用者へ賃金として還元することで、自立した生活への一助とする。 ・農業、障害者支援それぞれに長けた職員を配置し、適切な支援を提供する。	・障害者総合支援法に基づく就労継続支援B型サービス事業所（利用定員20人（予定））として運営を行う。 ・冬季の水耕栽培施設内の加温には、木質バイオマスボイラーを導入。燃料は地域の間伐材を活用し、山林整備の促進にも寄与し、農業、林業、福祉が連携した事業とする。	

【事業実績】

区分 (千円)	現計 予算額	決算 見込額	令和5年度事業実績
合計	50,755 (繰越 204,784)	49,794 (繰越 200,643)	➤ 事業用地の造成工事（繰越）（R5.6月完了） ➤ メロン水耕栽培施設（ビニールハウス）建設工事（R5.12月完了） ※ R5.12.19：水耕栽培施設見学会開催 ※ R6.1月中旬：試験栽培開始 ➤ 管理棟（作業棟兼事務棟）建設工事、付帯工事（R6.3月完了）
国			
県			
地方債	15,000 (繰越 200,700)	13,900 (繰越 191,600)	
その他			
一般	35,755 (繰越 4,084)	35,894 (繰越 9,043)	

※ 現計予算額・決算見込額欄の（ ）内の数字は、令和4年度の繰越明許分の事業費である（令和5年度の現計予算額・決算見込額の外数として記載）

【事業予定】

区分 (千円)	当初 予算額	令和6年度事業予定
合計	49,235	➤ 今年度中（秋頃を目途）に施設開設予定 ➤ 本年4月1日より施設に職員5名を配置し、メロンの試験栽培及び施設開設に係る準備事務に充たる ➤ 施設開設後は利用者を迎え、メロン栽培により就労支援を実施する [施設概要] ○名称：高崎市倉渕就労継続支援施設（愛称は今後決定予定） ○住所：高崎市倉渕町川浦 1051 番地 1 ○施設・設備： ・管理棟（作業棟兼事務棟）：約 350 m ² ・メロン水耕栽培施設（ビニールハウス、加温施設として木質バイオマスボイラーを導入）：約 1,000 m ² （3連棟）
国		
県		
地方債		
その他	20,227	
一般	29,008	

倉渕地域のまちづくりに関する意見一覧

倉渕支所 地域振興課

■ 倉渕地域のまちづくりに関する意見

内容区分	意 見	回 答
1. 森林環境譲与税の活用について	本年6月より森林保全を目的に森林環境税が導入された。 税収は森林環境譲与税として各自治体に配分されると伺ったが、高崎市における森林環境譲与税を活用した事業や計画などを伺いたい。	森林環境税は、森林の有する機能の維持増進の重要性に鑑み、市町村及び都道府県が実施する森林の整備及びその促進に関する施策の財源に充てるため創設された。 令和6年度から、国内に住所のある個人に対して課税される国税となっており、市町村において、個人住民税均等割と併せて1人年額1,000円が徴収されるものである。 なお、その税収の全額が、国から県及び市町村に森林環境譲与税として交付される。 森林環境譲与税は、森林整備及びその促進が目的となっており、課税前の令和元年度より、私有林人工林面積や林業就業者数及び人口の割合に応じて市町村に交付が開始されている。 森林環境譲与税の目的の一つである、森林整備を進めていく上での対策として、令和元年度に森林経営管理制度が導入された。 この森林経営管理制度では、手入れの行き届かなくなった民有林の整備を、所有者の同意に基づき、所有者に代わり市町村が実施する制度となっている。本市でも当該制度により、民有林の整備を計画的に進めている。 倉渕地域においては、これまでに5つの林班において地権者の意向調査を実施し、そのうちの約20ヘクタールの森林の整備が林業事業者にて開始されている。 また、森林環境譲与税のもう一つの目的である、森林整備の促進については、その使途を各市町村に委ねられている。

■ 倉渕地域のまちづくりに関する意見

内容区分	意 見	回 答
		本市では、観音山及び高崎自然歩道の整備や吉井地域の牛伏山を花で囲むプロジェクトのほか、現在倉渕地域で事業が進められている倉渕就労継続支援施設の整備において、木質バイオマスボイラーの導入経費の一部に活用し、農福連携事業に林業分野も加えた取り組みを行っている。 これからも、森林環境譲与税を有効活用し、森林整備の推進と、地域の特性を活かせる事業を両立してまいりたい。

■ 倉渕地域のまちづくりに関する意見

内容区分	意 見	回 答
2. 自主防災組織の結成について	私の町内会では自主防災組織が結成されていない。 私が住んでいる地域では土砂災害が想定され、道路の寸断の恐れがあることから、災害発生時には町内で適切な情報伝達が必要となる。 そこで自主防災組織の結成を検討しているが、高齢者が多いため結成に苦慮している。こうした中での自主防災組織の結成方法や高崎市の支援について伺いたい。	自主防災組織は、いざという時に備え、自分たちの地域は自分たちで守るという考えのもと、隣近所の顔の見える関係を活かし、地域住民が自主的な防災活動などを行う組織である。 7月1日現在、本市における自主防災組織結成率は、約83%で、日頃から防災訓練や保存食の備蓄など、活発な地域防災活動に取り組んでいただいている。 倉渕地域は災害時に手助けが必要な高齢者の方が多く、また集落が点在している地域でもあり、それぞれの特性があるので、自らが備えることや、町内会での情報共有等が不可欠である。 ぜひ組織の結成に向け、自主防災組織が結成されている地域などを参考に、町内会や近隣地域で協議を進めていただき、地域振興課又は防災安全1課から自主防災組織の結成に向けた支援もさせていただきたいと考えている。 次に、自主防災組織への支援について、本市では、2種類の補助金を交付している。 1つ目の補助は、自主防災組織の育成を推進するため、組織結成時に活動に必要な防災資機材の購入を補助する制度を設けている。 補助額については、1組織あたり20万円を上限としている。 次に、2つ目の補助は、自主防災組織の活動を支援するため、自主防災組織が防災訓練等を実施する場合に、経費の一部を年1回補助している。 こちらの補助額については、10万円を上限としてい

■ 倉渕地域のまちづくりに関する意見

内容区分	意 見	回 答
		る。 また、防災への住民意識を高めるための出前講座も行っているのでご相談いただきたい。

令和6年度
(2024年度)

当初予算の概要

◇ 予算規模	1
◇ 一般会計予算の概要	2
1 歳入	
2 歳出(目的別)	
3 歳出(性質別)	
4 その他の資料	
◇ 【令和6年度当初予算の主要事業】	7

予 算 規 模

- ・ 一般会計 1,682億9,000万円（前年度対比＋1.3％）
- ・ 特別会計 778億4,825万円（前年度対比＋0.5％）
- ・ 水道事業会計 102億434万円（前年度対比△2.6％）
- ・ 公共下水道事業会計 139億4,962万円（前年度対比△0.5％）
- ・ 総予算 2,702億9,221万円（前年度対比＋0.8％）

〈各会計別予算〉

会 計 別	令和6年度予算額	令和5年度予算額	増減率
一 般 会 計	1,682 億 9,000 万円	1,661 億 5,000 万円	1.3
特 別 会 計	778 億 4,825 万円	774 億 5,806 万円	0.5
国民健康保険事業特別会計	341 億 152 万円	347 億 5,910 万円	△ 1.9
介護保険特別会計	371 億 8,426 万円	366 億 7,860 万円	1.4
牛伏ドリームセンター事業特別会計	1 億 2,533 万円	1 億 1,733 万円	6.8
母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計	1 億 3,991 万円	1 億 2,230 万円	14.4
後期高齢者医療特別会計	61 億 8,758 万円	56 億 5,229 万円	9.5
農業集落排水事業特別会計	1 億 966 万円	1 億 2,844 万円	△ 14.6
小 計	2,461 億 3,825 万円	2,436 億 806 万円	1.0
水道事業会計	102 億 434 万円	104 億 7,426 万円	△ 2.6
公共下水道事業会計	139 億 4,962 万円	140 億 1,891 万円	△ 0.5
合 計	2,702 億 9,221 万円	2,681 億 123 万円	0.8

※万円未満四捨五入。計欄の予算額と各会計の予算額の合計は一致しません。

一般会計は1.3%の増

主な新規・拡大事業

- ・ 公立保育所緊急修繕・整備 0.5億円（＋0.3億円）
- ・ 児童相談所整備事業 11.4億円（＋4.3億円）
- ・ 児童手当の拡充 56.8億円（＋5.6億円）
- ・ 带状疱疹ワクチン予防接種費用の助成 0.9億円（新規）
- ・ 労使会館建設事業 9.8億円（＋1.3億円）
- ・ 観音山・自然歩道整備事業 0.6億円（＋0.3億円）
- ・ 榛名湖水上ステージ整備 0.2億円（新規）
- ・ 支所地域維持補修工事 2.1億円（＋0.3億円）
- ・ 豊岡新駅（仮称）設置事業 3.0億円（＋1.3億円）
- ・ 高崎駅東口栄町地区第一種市街地再開発 2.3億円（＋2.3億円）
- ・ 宮元町第二地区優良建築物等整備 6.3億円（＋5.2億円）
- ・ 烏川かわまちづくり整備事業 2.8億円（＋2.5億円）
- ・ 災害対策用電気自動車及び移動式トイレトレーラー等購入 0.7億円（新規）
- ・ 学校給水設備改修工事 0.5億円（＋0.3億円）
- ・ 学校等給食の食材価格高騰対策 1.8億円（＋1.2億円）

主な終了・縮小事業

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策事業 終了（△3.2億円）
- ・ 高浜クリーンセンター建設事業 縮小（△9.4億円）
- ・ 商工業融資資金預託金 縮小（△4.5億円）

特別会計は0.5%の増

- ・ 国民健康保険事業特別会計 保険給付費の減額
- ・ 介護保険特別会計 介護サービス給付費等の増額
- ・ 高年齢者福祉なんでも相談センター（仮称）の開設
- ・ 後期高齢者医療特別会計 保険給付費負担金の増額

一般会計予算の概要

1 歳入

(単位：千円、%)

区 分	令和6年度		令和5年度		増 減 額	増減率
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比		
1 市 税	62,999,213	37.4	63,735,633	38.4	△ 736,420	△ 1.2
2 地方譲与税	1,341,375	0.8	1,264,454	0.8	76,921	6.1
3 利子割交付金	16,000	0.0	18,000	0.0	△ 2,000	△ 11.1
4 配当割交付金	280,000	0.2	370,000	0.2	△ 90,000	△ 24.3
5 株式等譲渡所得割交付金	210,000	0.1	240,000	0.1	△ 30,000	△ 12.5
6 法人事業税交付金	1,010,000	0.6	900,000	0.6	110,000	12.2
7 地方消費税交付金	9,700,000	5.8	9,500,000	5.7	200,000	2.1
8 ゴルフ場利用税交付金	110,000	0.1	110,000	0.1	-	-
9 環境性能割交付金	170,000	0.1	100,000	0.1	70,000	70.0
10 国有提供施設等所在市町村助成交付金	26,279	0.0	27,427	0.0	△ 1,148	△ 4.2
11 地方特例交付金	1,924,919	1.1	450,000	0.3	1,474,919	327.8
12 地方交付税	14,500,000	8.6	13,300,000	8.0	1,200,000	9.0
うち普通交付税	12,600,000	7.5	11,500,000	6.9	1,100,000	9.6
13 交通安全対策特別交付金	80,000	0.0	80,000	0.0	-	-
14 分担金及び負担金	364,201	0.2	355,972	0.2	8,229	2.3
15 使用料及び手数料	2,531,848	1.5	2,513,023	1.5	18,825	0.7
16 国庫支出金	25,878,523	15.4	24,723,178	14.9	1,155,345	4.7
17 県支出金	11,228,631	6.7	10,970,390	6.6	258,241	2.4
18 財産収入	277,601	0.2	380,310	0.2	△ 102,709	△ 27.0
19 寄附金	210,005	0.1	190,005	0.1	20,000	10.5
20 繰入金	6,783,174	4.0	6,099,871	3.7	683,303	11.2
うち財政調整基金繰入金	4,300,000	2.6	3,900,000	2.3	400,000	10.3
21 繰越金	1	0.0	1	0.0	-	-
22 諸収入	17,915,530	10.7	19,001,936	11.4	△ 1,086,406	△ 5.7
23 市 債	10,732,700	6.4	11,819,800	7.1	△ 1,087,100	△ 9.2
うち臨時財政対策債	800,000	0.5	1,800,000	1.1	△ 1,000,000	△ 55.6
合 計	168,290,000	100.0	166,150,000	100.0	2,140,000	1.3

- ◆ 市税は、629億9,921万円を計上しました。市民税個人は、定額減税が実施されることから4.6%減の213億6,427万円、市民税法人は、令和5年度の決算見込み及び景気の緩やかな回復基調の継続を見込み、前年度対比1.3%増の59億5,887万円、固定資産税は、評価替えによる減収が見込まれるものの、企業の設備投資などが増加傾向にあることから、前年度対比0.1%増の262億8,751万円を見込みました。
- ◆ 地方消費税交付金は、消費の伸びや実績等を勘案し、前年度対比2.1%増の97億円を見込みました。
- ◆ 地方特例交付金は、定額減税による市民税個人所得割の減収額の補填を勘案し、前年度対比327.8%増の19億2,492万円を見込みました。
- ◆ 普通交付税は、令和5年度の実績額に地方財政計画を勘案し、前年度対比9.6%増の126億円を見込みました。
- ◆ 基金繰入は、財政調整基金から43億円(前年度39億円)、減債基金から12億円(前年度10億円)のほか、廃棄物処理施設整備等基金から8.2億円(前年度5.8億円)等を計上しました。
- ◆ 市債は、児童相談所整備、烏川かわまちづくり整備及び労使会館建設などにより建設等事業債が増額となる一方、高浜クリーンセンター建設等の建設等事業債の減額や、地方財政計画を踏まえた臨時財政対策債の減額を見込み、前年度対比9.2%減の107億3,270万円としました。

2 歳出(目的別)

(単位：千円、%)

区 分	令和 6 年度		令和 5 年度		増 減 額	増減率
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比		
1 議会費	670,868	0.4	681,263	0.4	△ 10,395	△ 1.5
2 総務費	16,285,235	9.7	16,079,317	9.7	205,918	1.3
3 民生費	63,886,278	38.0	60,199,646	36.2	3,686,632	6.1
4 衛生費	20,754,280	12.3	21,822,126	13.1	△ 1,067,846	△ 4.9
5 労働費	1,158,179	0.7	1,083,723	0.7	74,456	6.9
6 農林水産業費	1,802,547	1.1	2,684,542	1.6	△ 881,995	△ 32.9
7 商工費	17,943,901	10.7	18,488,785	11.1	△ 544,884	△ 2.9
8 土木費	11,714,473	6.9	11,422,340	6.9	292,133	2.6
9 消防費	4,614,846	2.7	4,599,019	2.8	15,827	0.3
10 教育費	15,193,220	9.0	14,514,858	8.7	678,362	4.7
11 災害復旧費	6	0.0	6	0.0	-	-
12 公債費	13,966,167	8.3	14,274,375	8.6	△ 308,208	△ 2.2
13 予備費	300,000	0.2	300,000	0.2	-	-
合 計	168,290,000	100.0	166,150,000	100.0	2,140,000	1.3

- ◆ 総務費は、選挙経費などが減少する一方、定年退職手当などの増加により、前年度対比2億592万円、1.3%の増額となっています。
- ◆ 民生費は、国民健康保険事業特別会計への繰出金などが減少する一方、子どものための教育・保育給付費、障害福祉費や児童相談所整備事業が増加するほか、児童手当の拡充などにより、前年度対比36億8,663万円、6.1%の増額となっています。
- ◆ 衛生費は、出産入院費用支援金や带状疱疹ワクチン予防接種の開始などにより増加する一方、高浜クリーンセンター建設事業などの減少により、前年度対比10億6,785万円、4.9%の減額となっています。
- ◆ 労働費は、労使会館建設事業などの増加により、前年度対比7,446万円、6.9%の増額となっています。
- ◆ 農林水産業費は、農業融資資金貸付金や農地耕作条件改善事業補助金などの減少により、前年度対比8億8,200万円、32.9%の減額となっています。
- ◆ 商工費は、産業立地振興奨励金や事業者用融資に伴う金融機関への預託金などの減少により、前年度対比5億4,488万円、2.9%の減額となっています。
- ◆ 土木費は、豊岡新駅(仮称)設置事業や烏川かわまちづくり整備事業などが増加するほか、高崎駅東口栄町地区第一種市街地再開発や宮元町第二地区優良建築物等整備などの増加により、前年度対比2億9,213万円、2.6%の増額となっています。
- ◆ 教育費は、学校等給食の食材価格高騰対策、小・中学校の外壁改修工事や給水設備改修工事費などの増加により、前年度対比6億7,836万円、4.7%の増額となっています。

3 歳出(性質別)

- ・ 人件費、扶助費、公債費の義務的経費… 7 8 2 億 5, 3 6 3 万円、前年度対比 4. 2 % の増
- ・ 建設事業などの投資的経費… 2 0 3 億 2 7 2 万円、前年度対比 2. 3 % の減

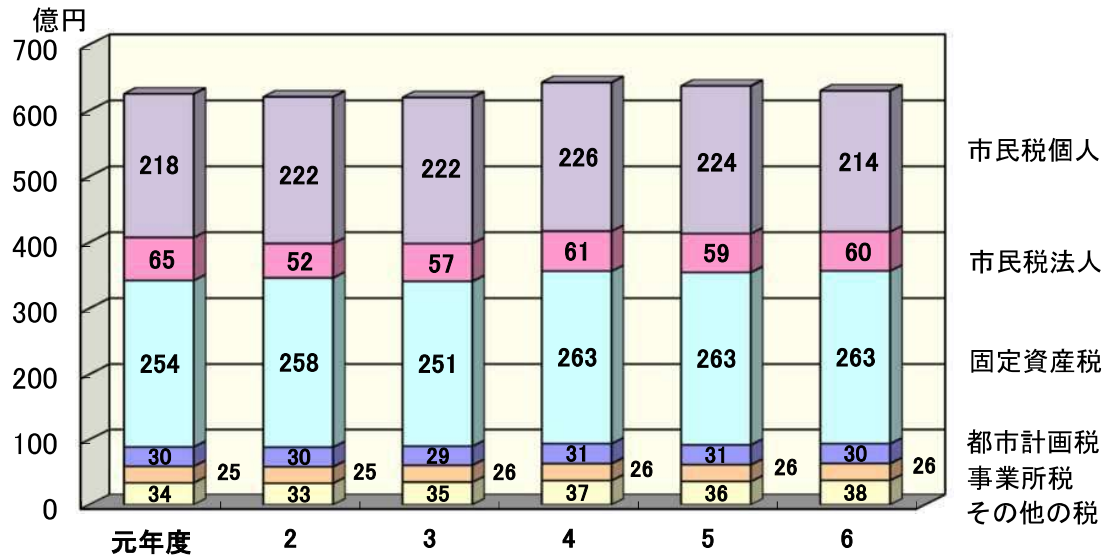
(単位：千円、%)

区 分	令和 6 年度		令和 5 年度		増 減 額	増減率
	予 算 額	構成比	予 算 額	構成比		
(1) 義務的経費	78, 253, 633	46. 5	75, 094, 632	45. 2	3, 159, 001	4. 2
① 人件費	25, 265, 107	15. 0	24, 156, 443	14. 5	1, 108, 664	4. 6
② 扶助費	39, 022, 359	23. 2	36, 663, 814	22. 1	2, 358, 545	6. 4
③ 公債費	13, 966, 167	8. 3	14, 274, 375	8. 6	△ 308, 208	△ 2. 2
(2) 投資的経費	20, 302, 715	12. 1	20, 780, 643	12. 5	△ 477, 928	△ 2. 3
① 普通建設事業	20, 302, 709	12. 1	20, 780, 637	12. 5	△ 477, 928	△ 2. 3
補助事業	12, 165, 820	7. 2	12, 771, 044	7. 7	△ 605, 224	△ 4. 7
単独事業	7, 871, 739	4. 7	7, 715, 735	4. 6	156, 004	2. 0
国直轄事業負担金	－	－	13, 500	0. 0	△ 13, 500	皆減
県営事業負担金	265, 150	0. 2	280, 358	0. 2	△ 15, 208	△ 5. 4
② 災害復旧事業	6	0. 0	6	0. 0	－	－
(3) その他経費	69, 733, 652	41. 4	70, 274, 725	42. 3	△ 541, 073	△ 0. 8
① 物件費	23, 353, 139	13. 9	22, 400, 831	13. 5	952, 308	4. 3
② 補助費等	20, 949, 803	12. 4	21, 044, 351	12. 7	△ 94, 548	△ 0. 4
③ 貸付金	14, 394, 437	8. 5	15, 618, 987	9. 4	△ 1, 224, 550	△ 7. 8
④ 繰出金	9, 263, 551	5. 5	9, 173, 539	5. 5	90, 012	1. 0
⑤ その他	1, 772, 722	1. 1	2, 037, 017	1. 2	△ 264, 295	△ 13. 0
合 計	168, 290, 000	100. 0	166, 150, 000	100. 0	2, 140, 000	1. 3

- ◆ 人件費は、職員数の増加、定年退職手当や嘱託職員の勤勉手当の支給などにより、前年度対比11億866万円、4.6%の増額となっています。
- ◆ 扶助費は、障害福祉費の増加や児童手当の拡充、保育所等への給付費の増加などにより、前年度対比23億5,855万円、6.4%の増額となっています。
- ◆ 普通建設事業は、児童相談所整備事業、烏川かわまちづくり整備事業及び労使会館の建設工事費などが増加する一方、高浜クリーンセンター建設工事費などが減少するため、前年度対比4億7,793万円、2.3%の減額となっています。
- ◆ 物件費は、市有施設の光熱水費や带状疱疹ワクチン予防接種の開始などにより、前年度対比9億5,231万円、4.3%の増額となっています。
- ◆ 補助費等は、後期高齢者医療広域連合への負担金の増加や出産入院費用支援金が増加する一方、医療提供体制整備補助金や下水道事業負担金などの減少により、前年度対比9,455万円、0.4%の減額となっています。
- ◆ 繰出金は、国民健康保険事業特別会計や後期高齢者医療特別会計などが減少する一方、介護保険特別会計における保険給付費の増加などにより、前年度対比9,001万円、1.0%の増額となっています。

4 その他の資料

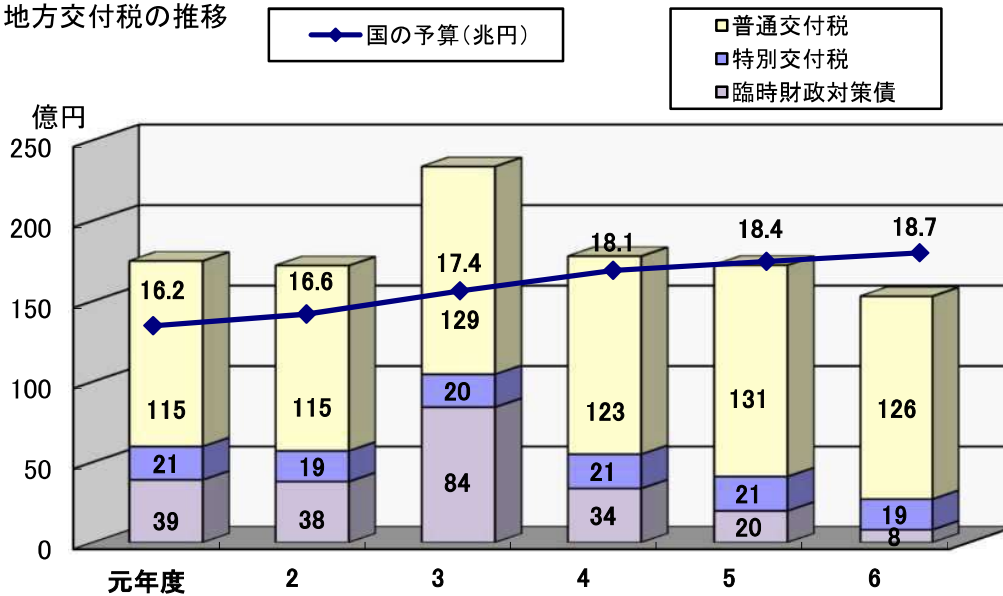
(1) 地方税の推移(見込み)



※元年度から4年度までは決算額

※5年度・6年度は当初予算額

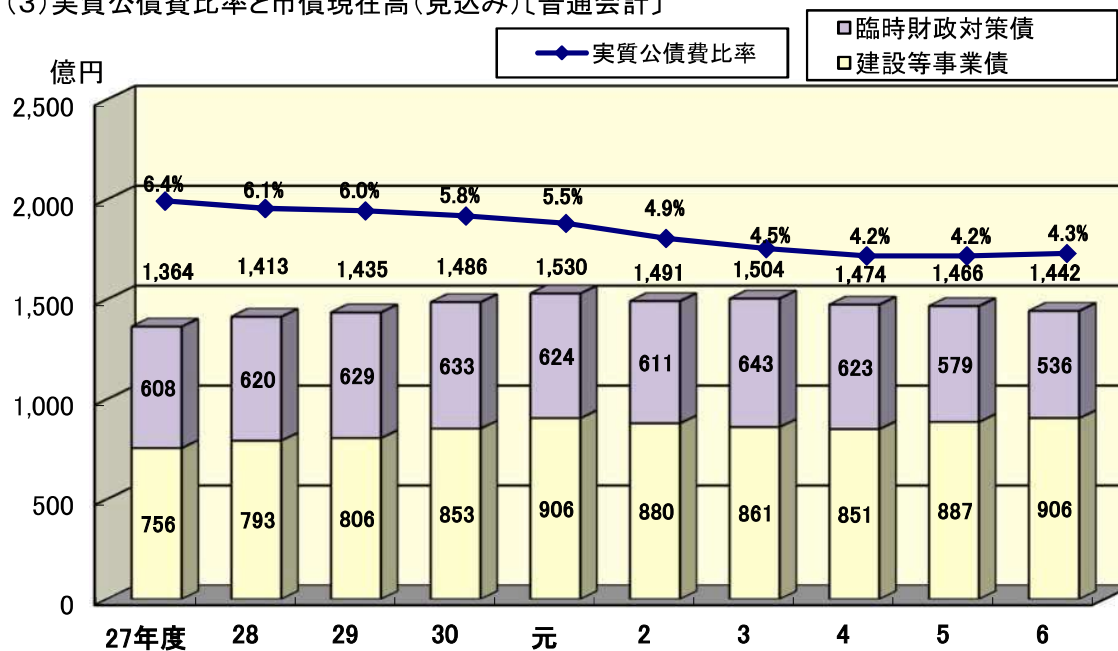
(2) 地方交付税の推移



※元年度から4年度までは決算額
(臨時財政対策債は発行可能額)

※5年度は決算見込額
※6年度は当初予算額

(3) 実質公債費比率と市債現在高(見込み)〔普通会計〕

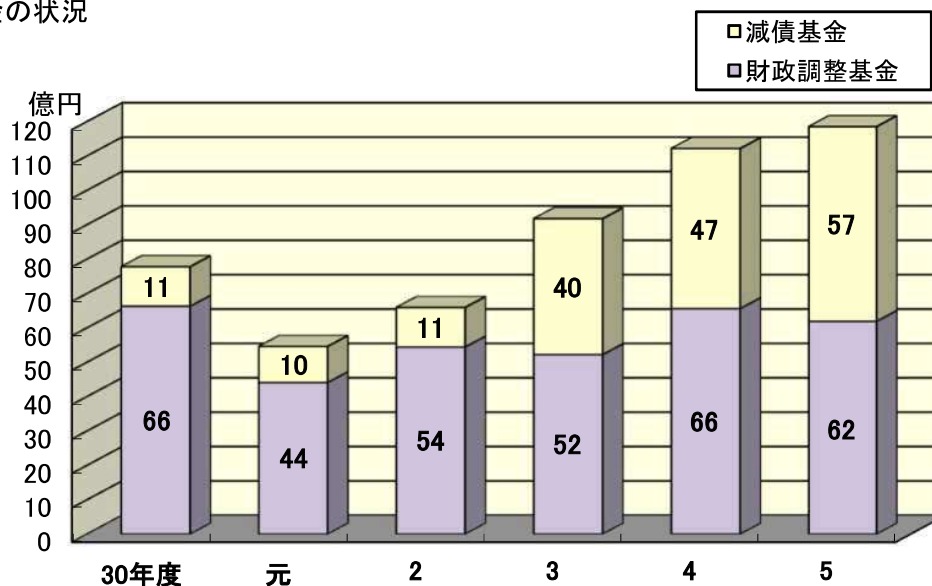


※27年度から4年度までは決算額

※5年度は決算見込額

※6年度は当初予算での推計値

(4) 基金の状況



※30年度から4年度までは決算額

※5年度は決算見込額

○元年度に財政調整基金が減少しているのは、台風19号被害への対応によるものです。

○3年度に減債基金が増加しているのは、3年度臨時財政対策債の償還分(23億円)の積立によるものです。

【令和6年度当初予算の主要事業】

《教育と人づくり》

事業概要	予算額
(1) くらぶち英語村運営事業 全国の小中学生を対象に、倉渚地域の豊かな自然環境、農山村の生活文化及び歴史的資源を活用し、生きた英語に囲まれた環境の中で集団生活及び自然体験を行う山村留学を実施する。	千円 171,736
(2) 英語教育指導事業 さらに英語力向上を図るため、ALT（外国語指導助手）を増員し、引き続き市内の全小中学校へ配置する。また、中学2年生を対象に英語4技能テストを実施し、英語力をバランスよく育成するための指導に活かす。	434,257
(3) スクールソーシャルワーカーの増員 不登校対策としてスクールソーシャルワーカーを増員し、社会福祉面から問題を抱えている児童生徒とその家族への支援の強化を図る。	27,797
(4) スクールカウンセラーの配置 新たに市独自でスクールカウンセラーを配置することにより、不登校や子育て等で悩みを抱えている児童生徒や保護者等に対する心理面での支援を充実させる。	3,395
(5) ヤングケアラーSOSサービス事業 家族の介護や家事、きょうだいの世話等をするヤングケアラーの負担を軽減するため、無料でサポーターを派遣し支援を行う。	97,645
(6) 学校施設維持補修等の推進 学校施設の環境改善を図るため、トイレ洋式化や外壁改修、体育館照明LED化等の工事を重点的に行う。 ・トイレ洋式化工事 120,000千円 ・外壁改修工事 122,000千円 ・給水及び消防設備改修工事 65,300千円 ・体育館照明LED化工事 19,000千円 ・特別支援学校校舎改修工事 19,000千円	538,958
(7) 学校体育館への空調設備設置 学校体育館への空調設備の設置を進めることにより、学校活動における熱中症等の健康被害を防ぐとともに、災害時における避難者の生活環境の改善を図る。	134,000
(8) 食材価格高騰への給食材料費支援 急激な食材価格の高騰に伴い、保護者負担が増加しないよう、給食材料費の高騰分を公費で負担する。	185,992
(9) GIGAスクール構想の推進 小・中・特別支援学校等に配備した1人1台のタブレット端末を活用し、授業における学習内容をより深化・定着させるよう学習活動の充実を図る。	297,296

《産業の振興》

事業概要	予算額
(1) 労使会館建設事業 勤労者福祉の一層の充実と健康維持・増進を図るため、体育館機能を加えた新たな施設を整備する。	千円 976,168
(2) 農業の振興（地産多消の推進） ・ 農業者新規創造活動事業補助 150,000千円 新品種・新商品の開発や、商工業者と連携した6次産業化の推進のほか、市内産農畜産物の販路拡大に向けた取り組みに挑戦する農業者を総合的に支援する。 ・ 農地再生推進事業補助 61,000千円 ・ かがやけ新規就農者応援給付金 20,000千円	231,000
(3) 地元企業への支援策 ・ 中小企業経営安定化助成 840,000千円 ・ 職場環境改善事業 100,000千円 ・ まちなか経済情報センター事業 11,790千円 ・ 中小企業者資格取得支援事業 13,000千円 ・ まちなか商店リニューアル助成 300,000千円 ・ 飲食店衛生向上リニューアル特別助成 50,000千円 ・ 住環境改善助成 100,000千円	1,414,790
(4) ビジネス誘致の推進 市内への企業誘致の促進や市内企業の定着を推進するための取り組みを支援する。 ・ 高崎シティプロモーション事業補助 30,000千円 ・ 産業立地振興奨励金 312,600千円 ・ ビジネス立地奨励金 34,000千円	376,600

《文化と歴史を活かした創造的な高崎》

事業概要	予算額
(1) 文化事業の振興 芸術文化活動の育成・促進や地域の文化活動を支援し、賑わいを創出する。 ・ まちなか音楽活動助成事業補助 10,000千円 ・ TAKASAKI CITY ROCK FES. 開催補助 50,000千円 「高崎芸術劇場」「Gメッセ群馬」「高崎アリーナ」で屋内型の大型音楽フェスを同時開催することにより、高崎の音楽文化の振興及び県内外からの集客を図る。 ・ その他各種開催補助等 247,680千円	千円 307,680
(2) スポーツの振興 ・ スポーツイベント等開催支援 80,724千円 ・ 高崎市民スポーツパーク（仮称）の整備 102,108千円	182,832
(3) 歴史を活かしたまちづくり ・ 「世界の記憶」上野三碑の保存活用 40,615千円 上野三碑の維持管理を行うとともに、多胡碑覆屋内装の改修工事を実施し、世界的価値の更なる理解促進に向けた普及啓発を図る。 ・ 榛名神社保存修理事業補助 36,750千円 ・ 史跡等の保存整備及び発掘調査 157,420千円	234,785

《やさしい眼差しに満ちた市政》

事業概要	予算額
(1) 子育て関連支援 ・ 子育てＳＯＳサービス事業 32,592千円 ・ 保育所入所待機解消支援事業 114,000千円 ・ 病児・病後児保育や一時預かり保育の支援 279,087千円 ・ 保育・介護人材確保事業 51,720千円 ・ 「気になる子」支援 59,950千円 ・ 公立保育所緊急修繕・整備 46,200千円 ・ 放課後児童クラブの充実 923,435千円	千円 1,506,984
(2) 児童相談所整備事業 年々増加する児童虐待事案に迅速に対応するため、児童相談所の開設に向けた準備を進める。	1,136,821
(3) 福祉の充実 ・ 障害者支援ＳＯＳセンターの運営 15,346千円 ・ 障害者農業就労施設運営事業 49,235千円 ・ おとしよりぐるりんタクシーの運行 314,878千円 ・ 介護ＳＯＳサービス事業 89,000千円 ・ 高齢者力仕事ＳＯＳサービス事業 95,133千円 ・ 高齢者等あんしん見守りシステムの充実 420,439千円 ・ 高齢者あんしんセンターの運営 608,910千円 ・ 高齢者世帯買い物ＳＯＳサービス事業 37,242千円 ・ 高齢者福祉なんでも相談センター（仮称）の開設 30,000千円	1,660,183
(4) 救急医療体制の充実 ・ 救急患者の受入促進 73,730千円 ・ 救急患者受入体制整備支援 50,000千円 ・ 脳卒中患者受入体制強化 40,000千円 ・ 心疾患患者受入強化 9,000千円	172,730
(5) 小児救急医療体制の充実 ・ 小児救急医療体制整備補助 21,500千円 ・ 夜間小児救急医療体制の確保 10,756千円 ・ 小児救急医師の確保 12,423千円	44,679
(6) 産科医等確保の支援 恒常的に不足している産科医等の確保を支援し、安心して子どもを産み育てられる環境整備を推進する。	105,000
(7) 母子健康支援事業の充実 ・ 妊婦初回産科受診料助成 13,000千円 ・ 妊婦健康診査特別助成 22,700千円 ・ 不妊・不育症等治療費助成 165,168千円 ・ 出産入院費用支援 117,000千円 ・ 新生児難病検査費助成 24,000千円 ・ 産婦健康診査・産後ケア事業 59,747千円 ・ 小児慢性特定疾病医療費等特別助成 4,834千円 ・ 特定疾病小児等特別支援 28,600千円 ・ 出産・子育て応援事業 278,938千円	713,987
(8) がん対策事業の推進 ・ がん検診事業 429,473千円 ・ 医療用ウィッグ等購入費補助 6,000千円	435,473

《合併した地域の個性を活かした魅力づくり》

事業概要	予算額
(1) 箕郷多目的運動場（仮称）の整備 高齢者をはじめとする多世代の人が気軽に運動できる施設として、地域の防災拠点機能も兼ね備えた多目的運動場を整備する。	千円 47,065
(2) 榛名地域スポーツ振興 ・ 榛名山ヒルクライム in 高崎 31,000千円 ・ 榛名湖リゾート・トライアスロン in 群馬 3,500千円 ・ 榛名湖マラソン 5,000千円	39,500
(3) 榛名湖水上ステージの整備 観光スポットとして人気の高い榛名湖の更なる誘客を図るため、ロックコンサート等のイベントを開催できる湖上ステージを整備する。	18,000
(4) 牛伏山を花で囲むプロジェクトの推進 牛伏山自然公園の2haを5か年計画で整備し、四季折々の花木を植栽する。	5,000
(5) 倉淵・榛名・吉井地域への移住・定住を促進	100,000
(6) 市内全域の道路の維持・補修 ・ 道路補修工事 333,000千円 ・ 支所地域維持補修工事 210,000千円	543,000

《能登半島地震を踏まえた災害対策の強化》

事業概要	予算額
台風や大雨、局地的豪雨等による浸水被害対策として、新町地域に災害救助用ボートを新たに配備するとともに、地震等の災害発生時に移動式電源として活用できる災害対策用電気自動車や車いす対応の移動式トイレトレーラーのほか、災害対策用給水車や水道応急復旧対策車を新たに配備するなど、災害対策の強化を図る。	千円
(1) 災害対策用資機材の整備・充実 ・ 移動式トイレトレーラーの配備 30,000千円 ・ 災害救助用ボートの配備 10,000千円 ・ 大型スポットクーラーの配備 7,000千円 ・ 災害対策用電気自動車（PHEV）の配備 21,000千円 ・ 災害対策用給水車の配備 55,000千円 ・ 水道応急復旧対策車の配備 17,245千円	140,245

《安心・安全な地域社会づくり》

事業・概要	予算額
(1) 防災対策事業の推進 ・ 消防団車両の充実 37,960千円 ・ 自主防災組織への支援 21,000千円	千円 58,960
(2) 道路穴ぼこ改修特別整備 健全な道路環境を保持し、市民生活の安心安全を確保するために緊急舗装工事を5か年で集中的に実施する。	200,000
(3) 交通安全対策 ・ 通学路緊急安全対策工事 20,000千円 ・ 通学路ハンプ設置工事 2,700千円 ・ 交通安全施設整備事業 112,000千円	134,700
(4) 高齢者等のごみ出し支援 自身でのごみ出しが困難な高齢者世帯等を対象に、戸別訪問によるごみ収集を実施する。	144,330
(5) 高浜クリーンセンター建設事業 施設の建設及びプラント設備工事を進める。 令和7年2月供用開始予定。	10,606,752

《大勢の人が歩き、賑わう街》

事業・概要	予算額
(1) 中心市街地の活性化と観光施策の拡充 ・ お店ぐるりんタクシーの運行 39,749千円 ・ まつり等開催補助 92,500千円 高崎まつり補助、山車まつり補助及び高崎だるま市の開催など、引き続きまちなかの活性化を図る。 ・ 「高崎じまん」等への支援 142,240千円 ・ 高崎の食発信事業 60,000千円	千円 334,489
(2) 豊岡新駅（仮称）設置事業 公共交通網の強化と地域住民の利便性向上のため、J R信越本線北高崎駅・群馬八幡駅間の新駅設置に向けた設計及び工事を行う。	304,361
(3) 市街地再開発事業 ・ 高崎駅東口栄町地区第一種市街地再開発 230,000千円 ・ 宮元町第二地区優良建築物等整備 630,000千円 ・ 連雀町地区優良建築物等整備 172,000千円 ・ 高崎駅東口ペDESTリアンデッキ整備 32,340千円	1,064,340
(4) まちなか小さな公園美化大作戦5か年計画 街中にある小さな公園を計画的に美化することにより、地域住民の憩いの場となるよう整備を行う。	250,761
(5) 烏川かわまちづくり整備 烏川と街中との回遊性を高めるとともに、更なる水辺空間の魅力向上や高崎産フルーツなど農産物のブランド化を図るため、地域や民間と連携し、主に榛名地域の果物を提供するフルーツカフェを新たに整備する。	277,048

